



建築家・吉村順三^{まなざし}の眼 ーアメリカと日本ー

展覧会期：2023年12月22日(金)～2024年3月28日(木)



ジャパン・ソサエティー(ニューヨーク、1971年) 所蔵: Japan Society

■開催趣旨

ギャラリーエークウッドでは、「建築家・吉村順三^{まなざし}の眼 ーアメリカと日本ー」展を開催いたします。

吉村順三は、第二次世界大戦をはさんで日本とアメリカを行き来し、日本の建築文化をアメリカに伝えた建築家です。

1940年、吉村はペンシルベニア州ニューホープに帰国していたアントニン・レーモンドに招かれ、開戦の直前までの14か月間、アントニン&ノエミ・レーモンド(夫妻)とともに暮らし、コロニアル建築の素朴な空間やニューヨークの摩天楼に至るまでを間近に経験します。その経験は、吉村が日本建築の伝統の中に潜む、近代建築の要素を再発見するきっかけとなりました。

戦後、吉村は、アメリカで経験したモダンライフを日本の建築に取り込むと同時に、日本の感性や思想を、ニューヨーク近代美術館(MoMA)の中庭に建設した「松風荘^{しょうふうそう}」をはじめ、ホテル・オン・ザ・マウンテンなどの作品を通じてアメリカに紹介し話題となります。本展は、吉村がアメリカで担当した作品から、国際的に活躍する芸術家等との交流から生まれた日本の作品までを、スケッチや写真、映像を交えて紹介し、その業績を明らかにするものです。

吉村の作品は、今でも精彩を失わず、時を経ることで、むしろ使い手の心地よさが増す建築として継承されています。それらの事例から、真摯で誠実な吉村順三の建築家としての眼差しに触れる機会となれば幸いです。

この機会に貴紙誌にてぜひ記事としてお採り上げいただきたく、宜しく願い申し上げます。



■企画概要

展覧会名：建築家・吉村順三の眼 まなざし —アメリカと日本—
会場：GALLERY A⁴（ギャラリー エー クワッド） 〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1
会期：2023年12月22日（金）～2024年3月28日（木）
開館時間：10：00～18：00（土曜、最終日は17：00まで）
休館日：日曜・祝日、12月28日（木）～1月4日（木）
入館料：無料
主催/企画：公益財団法人 ギャラリー エー クワッド
特別協力：吉村隆子（公益財団法人ソルフェージュスクール理事長）
監修：松隈洋（神奈川大学教授、京都工芸繊維大学名誉教授）
協力：吉村順三記念ギャラリー、吉村設計事務所、神奈川大学建築学部、
レーモンド・ファーム・センター、株式会社レーモンド設計事務所、米国議会図書館、
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、高知県立美術館 石元泰博フォトセンター、Japan Society、
ニューヨーク近代美術館、ペンシルベニア大学アーカイブ、株式会社北澤建築設計事務所、
一般社団法人住宅遺産トラスト、公益財団法人ソルフェージュスクール、隈研吾建築都市設計事務所、
青山タワービル、八ヶ岳高原音楽堂、公益財団法人国際文化会館、一般財団法人脇田美術館
お問合せ：ギャラリー エー クワッド事務局 TEL 03-6660-6011
E-mail：gallery@a-quad.jp
公式HP：https://www.a-quad.jp

■展覧会のみどころ

1章 吉村順三の歩み 生い立ちと出会い

*幼少時代からの生い立ちを追い、ゆかりの写真、絵画、スケッチブックなどの実物資料を紹介しつつ、吉村が出会った人々との関連図を展示。

2章 吉村順三とレーモンド夫妻 <戦前アメリカ> アメリカとの出会い

*吉村がアメリカに滞在するきっかけの一つとなった斎藤博駐米大使記念図書室の設計にあたり、アメリカ議会図書館の司書であった坂西志保との書簡のやりとり、また東京のレーモンド事務所を任されていた杉山雅則とのやりとり、ほか吉村自身のスケッチや写真を紹介。

3章 吉村順三が紹介した日本 <戦後アメリカ> アメリカで日本をひらく

*MoMAの中庭で展示した「松風荘」をはじめとし、アメリカで吉村が携わったプロジェクトを紹介する。また、当時のアメリカで吉村が紹介された雑誌『LIFE』ほか、パンフレット資料なども展示。

4章 吉村順三のインターナショナル <戦後日本> 音楽とともに…

*国際文化会館、青山タワービルのなりたちを追いながら、図面、建設当初の写真、映像、模型を紹介する。また妻であるバイオリニストの大村多喜子のソルフェージュスクールでの活動とその理念を、吉村が建築とデザイン（教材、ポスターなど）で支えたエピソードを紹介。

5章 吉村順三の生活と藝術 <住い手が受け継ぐもの> 暮らしにひらく

*吉村順三と日本の芸術家や文化人との交流から生まれた作品を、スケッチや写真、映像、図面、模型を交えて紹介。

6章 吉村順三の建築 <インタビュー> 住まい手の声を聴く

*現在、吉村順三の建築を継承する人々へのインタビュー映像を紹介。



■広報用画像



1. ジャパン・ソサエティーのドローイングを持つ吉村順三
所蔵: Japan Society



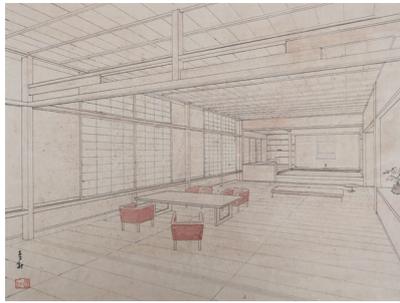
2. アメリカのニューホープにあるレーモンドファームにて(1940年)
所蔵: 吉村設計事務所



3. 吉村順三が撮影したスナップ写真(アメリカ、ニューホープ、1940年)
所蔵: 吉村設計事務所



4. 吉村順三が撮影したスナップ写真(アメリカ、ニューヨーク、1940年)
所蔵: 吉村設計事務所



5. 斎藤博駐米大使記念図書室の計画案パース(1940年)
所蔵: 株式会社北澤建築設計事務所



6. ジャパン・ソサエティー(ニューヨーク、1971年)
所蔵: Japan Society



7. ソルフェージュスクール(2023年)
撮影: 市川靖史



8. 猪熊邸(2023年)
撮影: 市川靖史



9. 園田高弘邸(現・伊藤邸)(2023年)
撮影: 市川靖史



10. 青山タワービル(2023年)
撮影: 市川靖史



■関連イベント

□①シンポジウム「吉村順三の建築—アメリカと日本—日本編」

日 程：2024年2月13日（火）18：00～20：00

講 師：益子義弘（建築家、東京藝術大学名誉教授）
林寛治（建築家、吉村順三設計事務所元所員）
藤井章（建築家、吉村順三設計事務所元所員）
大澤悟郎（建築家、猪熊邸継承者）
松隈洋（神奈川大学教授、京都工芸繊維大学名誉教授）

場 所：竹中工務店東京本店2階Aホール（東京都江東区新砂1-1-1）

定 員：100名 要事前申込（先着順） 参加費：無料

申込み：公式HP（<https://www.a-quad.jp/>）をご覧ください

※定員のため、受付を終了しました。

後日、公式HPにて配信予定。詳細はHPにてご案内いたします。

□②シンポジウム「吉村順三の建築—アメリカと日本—アメリカ編」（期間限定配信）

講 師：ケン・タダシ・オオシマ（ワシントン大学教授）

田中厚子（建築史家）

シャーロット・レーモンド（写真家、レーモンド・ファーム・センター 共同ディレクター）

ウィリアム・ウィテカー（ペンシルベニア大学建築アーカイブキュレーター）

松隈洋（神奈川大学教授、京都工芸繊維大学名誉教授）

配 信：2月上旬頃 ギャラリーエークウッドHPにて公開予定

□③シンポジウム「吉村順三の眼差しを継承すること」

日 程：2024年3月6日（水）18：00～20：00

講 師：益子義弘（建築家、東京藝術大学名誉教授）
藤井章（建築家、吉村順三設計事務所元所員）
堀部安嗣（建築家）
六角美瑠（建築家、神奈川大学教授）

場 所：竹中工務店東京本店2階Aホール（東京都江東区新砂1-1-1）

定 員：100名 要事前申込（先着順） 参加費：無料

申込み：公式HP（<https://www.a-quad.jp/>）をご覧ください

※定員のため、受付を終了しました。

後日、公式HPにて配信予定。詳細はHPにてご案内いたします。

▼公式HP



詳細は後日、公式HP
（<https://www.a-quad.jp/>）
にて公開いたします